



9月議会できまがい市議質問

安心の地域公共交通・夕張市独自の給付型奨学金を



9月12日から開催された夕張市議会での、くまがい桂子市議の質問と答弁の概要について、お知らせします。

◆ ◆ ◆

1、地域公共交通について

質問1 「小規模輸送を担うNPO等の交通事業体育成」について、進捗状況は。

答弁1 持続可能な地域公共交通に向けて、交通の再編を進めている。10月から夕鉄バスの廃止路線については、デマンドバスの拡充や、タクシー乗車補助等で、事業者からは大きな協力をいただいている。限られた交通資源を効率的に組

み合わせ、事業者の負担軽減・収支の改善・従業員の新たな採用にもつながっている。基本としては、既存の事業者が持続運営できるかで、社協・NPO（ラプラス）・タクシー事業者にも事業拡大を依頼している。

進めるプロジェクトや観光、地域産業、教育・人材育成・生涯学習・まちづくり、インターンシップ、地域活動等で連携することにより、市民・中高生も含め、専門的な研究等について学べる機会が広がる。『夕張の未来』

18年前と比べて、2倍近くも貧困人口が増加し続けている。大学授業料は上がり続けているが、親の世帯年収が減り、仕送り額は過去最低となっている。そのため、二人に一人は奨学金に頼らざるを得なくなっている。

者は年間およそ8万人にも上っている。更に、現在の日本の制度では、中退する、すぐに奨学金の返済をせねばならず、卒業しても、中途退学しても、借金を負わねばならない。世界的に見れば、そもそも大学の

奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

「運転免許を返上しても安心」の地域公共交通を 「大学との連携」・「給付型奨学金」の創設を

2、夕張の未来をつくるプロジェクトについて

「子どもたちの未来」をつくることにつながると考えるが、市長の見解は。

入りが低く、返済しにくいのは、定額の国が多額、また、学費がかかる、自己破産に陥るケースも1万件以上上っている。返済が不十分なると、連帯保証人の親や親せきが400万を超えるような額を負担しなければならない。これは、大きな社会問題。また、仕送りに頼れず、アルバイトをしすぎて、大学の出席日数が不足したり、大学を中退せざるを得ない状況が増え、中退

奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

質問1 「夕張の自然環境」「炭鉱遺産と夕張の歴史」「自然と観光」「映像文化」等

答弁1 必要な場合はその都度考えていく。何をやるかが重要。今後広い視点で考えていきたい。

証人の親や親せきが400万を超えるような額を負担しなければならない。これは、大きな社会問題。また、仕送りに頼れず、アルバイトをしすぎて、大学の出席日数が不足したり、大学を中退せざるを得ない状況が増え、中退

奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

質問2 全国的に貧困が問題になっている中、物価上昇を加えれば、2016年の貧困人口率は24.3%、つまり4人に1人が貧困であり、

また、奨学金の返済が負担になることから、奨学金貸与を受けられない学生が増えている。国の給付型奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

心や関わりのある学と連携協定を結び、市が推

全国的に貧困が問題になっている中、物価上昇を加えれば、2016年の貧困人口率は24.3%、つまり4人に1人が貧困であり、

また、奨学金の返済が負担になることから、奨学金貸与を受けられない学生が増えている。国の給付型奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

奨学金は、枠が非常に少ないので、ふるさと納税などを活用して、他の自治体でも広がりつつある『給付型奨学金』を夕張市として設立すべきと考えるが、教育長の見解は。

空知合研2017

10月1日(日)二〇一七年度空知合同教育研究大会が、奈井江町公民館で開催され、小中高の教育関係者をはじめ空知地区の住民あわせて60名以上の参加がありました。



午前中は、「アイヌ民

族と松浦武四郎」という演題で、札幌学院大学人文学部教授杉山四郎先生の講演。午後からは、「地域の子どもの今を考えた」学校の子どもたちの今を考えた子どもたちの今を考えた」の三つの分科会に分かれて論議を深

めました。

講演では、はじめに杉山先生は、「幕末の時代、21歳から41歳の間に6度も命がけの蝦夷地探検を果たした松浦武四郎の碑が道内に61あり、杉山先生自ら20年かけてその一つひとつを探索することによって、虐げられたアイヌ民族に同情し、かつ義憤にかられながら、その実態を克明に書き記していった武四郎の人となりを感じることができた。」と武四郎の人間性についてふれました。

次に、「空知には、7市町村に合計11という多数の武四郎の碑があるものの、武四郎と同行したアイヌの名を刻んでいる碑は、北村の2碑と砂川の1碑のみという点で、残念である。改めて武四郎の蝦夷地探検は、アイヌの青年の手助けなしに成し得なかったことに思いを致す必要がある。」空知以外の道内の地域の碑

や碑文の中には、武四郎が、道内各地のアイヌの家に宿泊し、酒や鹿肉などのもてなしを受けたことなどが記されていて、『武四郎とアイヌの豊かな交流』と『アイヌ民族の他民族とも友好的に交流できる精神性』を感じる事ができる。」と語りました。

杉山先生の大学の受講生に、「北海道にアイヌ民族がいた証拠がありますか。」と質問する学生がいたという経験から、北海道に住む若者に、この地が、北海道と命名される遥か前から現在に至るまでアイヌ民族が自分たちの独自の文化を脈々と受け継いでいることを学ぶ機会の必要性を指摘しました。そのためにも、これから松浦武四郎の碑の建立を計画が進んでいる自治体には、絶対に武四郎と同行したアイヌの青年の名も刻むべきであることを強調して講演を終えました。



岩渕 友「国会かけある記」
参議院議員

岩渕 友

国民の手に政治をとりもどすとき

二年前、安保法制が強行されたときの国会前を思い返しています。「戦争法案今すぐ廃案」というコールは、採決が強行された瞬間「戦争法は今すぐ廃止」と変わりました。誰もあきらめていませんでした。そして、「野党は共闘」という声に押されて、市民と野党の共闘が実現しました。市民と野党が力を合わせて、安倍暴走政治を終わらせる。誰もあきらめず、政治を進めてきました。二年間、市民と野党の共闘が育んできたものは、簡単に壊せるものではない。その通りだと自信を持って言えます。

北海道での候補者一本化は全国を励ましています。日本共産党は七選挙区で立候補を取り下げることになりました。地域の隅々まで足を運び、苦労や困難に寄り添い、政治を変えるために何としても国会へと、何度も決意をされてきたと思います。

ともに歩んできた支持者、後援会員、黨員のみなさん。みなさんの気持ちを思うとき、敬意という言葉では言い尽くせない気持ちになります。そして統一候補になったみなさんの大奮闘に胸が熱くなります。市民と野党が力をあわせ、安倍暴走政治を終わらせる。国民の手に政治を取り戻す選挙です。

街頭で訴えていると、ブレずにスジを通す日本共産党にかつてない期待が寄せられます。北海道での党議席は立場を超えて共同の輪を広げる力になってきました。この議席を必ず。そしてさらに増やして、国会でもともに奮闘したい。必ず勝ちましょう！私も全力を尽くします。